

2021年度 平館高校地熱探検隊

(1) 目的

地元高校生が八幡平市の固有の資源である地熱や地熱活用産業を学び、地域の良さや特色に気づくことで、持続可能なまちづくりを次世代へ引き継いでいく機運を醸成することを目的とする。

(2) 実施概要

実施概要は以下の通りとなっている。

- ・日 時 令和3年9月30日（木）9：00～15：30（予定）
- ・対 象 県立平館高等学校 2年生52名（教諭6名、市職員が帯同）
- ・班編成 午前の部：3班、午後の部：2班
- ・バ ス 市公用バス 33人乗り×2台
- ・見学地 ①松川地熱発電所
②(株)八幡平温泉開発
③八幡平スマートファーム（高石野団地）

・行程

時刻	内 容			備 考
9：00	平館高校 出発			バス1号車(1班・2班) バス2号車(3班)
	1班(14名)	2班(14名)	3班(14名)	
	9：40 松川地熱発電所(PR館～造湯～建屋)各20分	9：40 松川地熱発電所(造湯～建屋～PR館)各20分	9：25 八幡平温泉開発(湯の又公園)	
	10：45 出発	10：45 出発	10：10 出発	
	11：00 八幡平温泉開発(湯の又公園)	11：00 八幡平温泉開発(湯の又公園)	10：25 松川地熱発電所(造湯～建屋～PR館)各20分	
	11：40 出発	11：40 出発	11：30 出発	
12：10	平館高校 到着 (昼食・休憩)			
13：30	平館高校 出発			バス1号車(1班) バス2号車(2班)
	1班(21名)	2班(21名)		
13：50	八幡平スマートファーム(高石野団地)	イーハトーブ火山局		
14：00	熱水ハウス見学・摘み取り体験	兒玉社長講話		
14：00	イーハトーブ火山局	八幡平スマートファーム(高石野団地)		
	兒玉社長講話	熱水ハウス見学・摘み取り体験		
15：10	出発			
15：30	平館高校 到着			

(3) 結果

国内初の地熱発電所の松川地熱発電所、同発電所からの熱水供給などを事業とする八幡平温泉開発、熱水供給を受け事業展開をはかる八幡平スマートファーム見学した。

■八幡平温泉開発

八幡平温泉郷のあゆみを踏まえ、温泉・熱水の供給、配湯管理に関する事業説明を受けた。安定した温泉供給のために計画的な維持管理がなされている。また、ホテルのみならず別荘地や病院、熱水ハウス等にも供給されており、八幡平市に観光振興や地域活性化に欠かせない事業者であることを学んだものと思われる。



維持管理についての事業説明の様子



引湯管の見学



事業説明の様子



平館高校卒業生による会社概要説明の様子

■松川地熱発電所

PR館にて地熱発電の仕組み、また松川地熱発電所建設当初の映像を交えて松川地熱発電所のあゆみを学び、構内の施設見学を行った。

松川地熱発電所の認可出力 23,500 kW は 5 万世帯もの電力消費量に相当すること、また「地熱発電の日」は松川地熱発電所にちなんで制定されたことなどを知る生徒も多く、設備の更新により現在の冷却塔が無くなることを惜しむ声も聞かれた。





施設見学の様子



地熱発電の仕組みを学ぶ

■八幡平スマートファーム

イーハトーブ火山局にて事業概要の説明を受けた。事業の根底には就農の課題をIT技術などで解決していきたいと考えていることなどの講話を受ける。「八幡平市で未利用の熱水ハウスを再生し、新しい農業、新しい働き方が始まっている。今後の進路を考える中で、農業が一つの選択肢になるのか、考えるきっかけになってもらえるとうれしい。」と語られた。あわせて、ファームにて施設見学と摘み取り体験を行った。



施設の説明



新規就農について



摘み取り体験の様子



摘み取り体験パッケージの様子

(4) 地熱探検隊 生徒振り返り結果

地熱探検隊実施後、見学した施設の中から1か所を選び、その施設とSDGsの関係性を考え、PRツールにまとめた。

PRツールは、10月16日・17日に開催された、平舘高校文化祭（紫薫祭）にて展示された。来場者にはSDGsの視点をもって、八幡平市の地熱資源を活用した産業の取組を見学いただいた。

参考URL：<http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/etc/bunkasai.html>





語

